

# 基礎研 レポート

## 欧州大手保険 G の 2022 年の 生命保険新契約業績 —商品タイプ別・地域別の販売動向・収益性の状況—

保険研究部 研究理事 中村 亮一  
TEL: (03)3512-1777 E-mail: [nryoichi@nli-research.co.jp](mailto:nryoichi@nli-research.co.jp)

### 1—はじめに

欧州大手保険グループの 2022 年決算数値が、2 月から 4 月にかけて、投資家向けのプレゼンテーション資料や Annual Report の形で公表された。

[前回のレポート](#)<sup>1</sup>では、生命保険事業を中心とした地域別の事業展開の状況について報告した。

ここ数年における新たな規制への対応や金利環境下で、各社とも貯蓄・年金商品等の伝統的な利率保証付商品から、ユニットリンク型商品や保障・医療商品へのシフトを志向してきた。こうした状況は、グループ全体として基本的には同じ方向に向かっているが、その実態は地域毎に若干異なっていた。これらは、各地域の保険市場や金融資本市場の状況やそれらを反映した保険商品の収益性等に関係している。

今回のレポートでは、2022 年の生命保険事業の新契約業績について、商品タイプ別、地域別の販売動向及び新契約マージン等の数値を通じて、欧州大手保険グループの商品シフトの現状及び収益性の状況を報告する。

### 2—欧州大手保険グループ各社の新契約業績動向等

この章では、欧州大手保険グループ各社の生命保険事業について、新契約の年換算保険料 (Annual Premium Equivalent : APE) や新契約保険料現在価値 (Present Value of New Business Premium : PVNBP) 及び新契約価値 (New Business Value : NBV) や新契約マージン (New Business Margin) の状況等について、商品タイプ別、地域別に報告する。

なお、新契約マージン等の定義や名称等は、その分母及び分子の考え方等について各社各様であるが、ここでは各社の公表数値等に基づいて報告する<sup>2</sup>。また、以下の図表は、会社が公表している数値に基づいて作成している。

<sup>1</sup> 基礎研レポート「[欧州大手保険グループの地域別の事業展開状況—2022 年決算数値等に基づく現状分析—](#)」(2023.5.9)

<sup>2</sup> 新契約価値 (NBV) について、Allianz、Generali、Aviva、Aegon、Zurich は MCEV、AXA、Prudential は EEV ベースである。なお、新契約価値の地域別状況等については、前回のレポートを適宜参照していただきたい。

## 1 | AXA

### (1)全体の状況<sup>3</sup>

2022年の**新契約価値(NBV)**は、2021年に比べて14%減少(為替レートや範囲等を同一とした「比較ベース」では12%減少、以下同様)(2021年は4.6%増加(8.4%増加))、金額で3.68億ユーロ減少して、22.25億ユーロとなった。シンガポールとギリシャでの事業を完全に処分した結果▲47百万ユーロ、規模の増加や商品ミックスの改善で+98百万ユーロ、金利の上昇等の不利な市場条件で▲310百万ユーロ、等の影響があったことによる。

**新契約マージン(NBV Margin<sup>4</sup>)**(=新契約価値/新契約保険料現在価値(PVNB))は、主に割引金利上昇の影響により、2021年に比べて0.1%ポイント上昇(0.2%ポイント上昇)して、3.9%となった。

**新契約マージン(NBV Margin)**(=新契約価値/新契約年換算保険料(APE))は、2021年に比べて7.0%ポイント低下(6.0%ポイント低下)して、36.9%となった。これは、主に、株式市場の低迷と金利の上昇等の悪影響を反映した前提の更新によるものである。

また、2021年に比べて、**新契約保険料現在価値(PVNB)**は、フランスとスイスにおいて平準払保険料は好調だったものの、割引率が高くなったことの影響で16%減少(16%減少)して、573.01億ユーロとなった。**新契約年換算保険料(APE)**は、2%増加(2%増加)(2021年は10.8%増加(12.9%増加))して、60.36億ユーロとなった。これは、主に、①(2023年には更新されなかった)国際グループ契約の2件の大型契約によるフランスの医療によるもので、②グループ年金の大口契約がなかったフランスでの貯蓄、及びイタリアでの投資商品の売上高の減少、によって一部相殺された。

なお、**新契約IRR(内部収益率)**は、(4)で述べるような地域別の状況を反映して、0.7%ポイント増加して、18.6%となった。

#### 生命保険事業の新契約の状況

(単位:百万ユーロ)

	NBV	新契約マージン (対PVNB)	新契約マージン (対APE)	PVNB	APE	新契約IRR (内部収益率)
①2022年	2,225	3.9%	36.9%	57,301	6,036	18.6%
②2021年	2,593	3.8%	43.9%	67,929	5,911	17.9%
③ ①/②-1	▲14% (▲12%)	0.1%ポイント (0.2%ポイント)	▲7.0%ポイント (▲6.0%ポイント)	▲16% (▲16%)	2% (2%)	0.7%ポイント

(※)③の( )内は、為替レートや範囲等を同一とした比較ベース(comparable basis)の数値

### (2)新契約年換算保険料(APE)の商品タイプ別、地域別内訳

新契約年換算保険料(APE)の商品タイプ別、地域別内訳は、次ページの図表の通りとなっている。

商品タイプ別の内訳は、グループ全体では、保障が39%(2021年は40%、以下同様)、医療が29%(23%)、一般勘定貯蓄が19%(20%)、ユニットリンクが13%(17%)、ミューチュアルファンド等が0%(0%)であった。

これらの商品タイプ別の構成比は、地域別に大きく異なっており、欧州では保障と医療がそれぞれ3割程

<sup>3</sup> ここでの具体的な数値は、(2)以下の図表等も参照していただきたい(以下、同様)。

<sup>4</sup> これをそのまま翻訳すると「新契約価値マージン」となるが、ここでは他社に合わせて「新契約マージン」と翻訳している。

度を占め、一般勘定貯蓄、ユニットリンクがそれぞれ 2 割程度となっているが、アジアではユニットリンクの構成比は低く、保障が 6 割以上で中心となっており、その他に医療及び一般勘定貯蓄が一定割合を占めている。

これをさらに各国別で見ると、欧州やアジア諸国間でも状況は一律ではなく、それぞれの国の保険市場の特徴が反映された形になっている。

2022年の新契約年換算保険料(APE)の商品タイプ別、地域別内訳 (単位:百万ユーロ)

	全体		欧州		アジア		国際	
		構成比		構成比		構成比		構成比
保障	2,363	39%	1,239	29%	1,045	63%	80	75%
医療	1,738	29%	1,486	35%	253	15%	-	-
一般勘定貯蓄	1,125	19%	866	20%	349	21%	10	9%
ユニットリンク	787	13%	748	18%	23	1%	16	15%
ミューチュアルファンド等	23	0%	23	1%	-	-	-	-
合計	6,036	100%	4,260	100%	1,669	100%	106	100%

2022年の新契約年換算保険料(APE)の商品タイプ別、各国・地域別内訳(欧州) (単位:百万ユーロ)

	フランス		ドイツ		スイス	
		構成比		構成比		構成比
保障	316	12%	76	20%	741	100%
医療	1,377	52%	108	28%	1	0%
一般勘定貯蓄	467	17%	141	37%	0	0%
ユニットリンク	513	19%	43	11%	0	0%
ミューチュアルファンド等	-	-	15	4%	-	-
合計	2,673	100%	383	100%	742	100%

	ベルギー		イタリア		スペイン	
		構成比		構成比		構成比
保障	29	38%	32	11%	44	42%
医療	-	-	-	-	-	-
一般勘定貯蓄	26	34%	120	43%	11	11%
ユニットリンク	21	27%	128	46%	42	40%
ミューチュアルファンド等	-	-	-	-	8	-
合計	77	100%	281	100%	104	100%

2022年の新契約年換算保険料(APE)の商品タイプ別、各国・地域別内訳(アジア) (単位:百万ユーロ)

	日本		香港		アジア高成長	
		構成比		構成比		構成比
保障	507	78%	309	80%	229	36%
医療	127	19%	61	16%	65	10%
一般勘定貯蓄	18	3%	4	1%	326	52%
ユニットリンク	-	-	14	4%	8	1%
ミューチュアルファンド等	-	-	-	-	-	-
合計	652	100%	388	100%	630	100%

### (3)新契約年換算保険料(APE)の商品タイプ別の構成比の推移

新契約マージン(対 APE)の商品タイプ別の構成比の推移は、次ページの図表の通りとなっている。

新契約年換算保険料(APE)について、2010 年から 2022 年にかけて、保障と医療の合計の構成比が 31%から 68%(39%+29%)へ 37%ポイントと大きく上昇したが、一般勘定貯蓄の構成比は 25%から 19%へ 6%ポイント低下し、ユニットリンクの構成比は 31% から 13%へと 18%ポイント低下した。

#### 新契約年換算保険料(APE)の商品タイプ別の構成比の推移

	全体	保障	医療	一般勘定 貯蓄	ユニットリンク	ミューチュアル・ファンド等
2022年	100%	39%	29%	19%	13%	0%
2021年	100%	40%	23%	20%	17%	0%
2020年	100%	46%	18%	20%	14%	1%
2019年	100%	31%	23%	23%	18%	6%
2018年	100%	33%	19%	19%	21%	8%
2010年	100%	31%		25%	31%	13%

#### (4)新契約マージン(対APE)及びIRR(内部収益率)の地域別状況

新契約マージン(対APE)及びIRR(内部収益率)の地域別状況は、以下及び次ページの図表の通りである。

これによれば、新契約マージン(対APE)について、欧州では、スイス、ベルギー、スペイン等が相対的に高い水準となっているが、親会社国のフランスの水準がグループ全体の水準を下回っている。アジアでは日本の水準が高いものとなっている。

なお、IRRについては、フランス以外の欧州が24.5%と高い水準となっている。ただし、2021年と比較すると、フランスやフランス以外の欧州において水準が低下した一方で、アジアでは水準が2.0%ポイント増加したことに牽引されて、グループ全体では0.7%ポイント増加して18.6%となっている。こうした状況は、2020年から2021年にかけても同様な状況であった。

#### 新契約マージン(対APE)及びIRR(内部収益率)の地域別状況

		全体	フランス	欧州(フランス以外)	米国	アジア	国際
2022年	NBV構成比	100%	28%	24%	-	47%	1%
	新契約マージン(対APE)	36.9%	23.0%	34.3%	-	62.8%	20.2%
	IRR	18.6%	16.5%	24.5%	-	18.3%	6.4%
2021年	NBV構成比	100%	29%	25%	-	43%	2%
	新契約マージン(対APE)	43.9%	29.1%	45.7%	-	65.4%	35.8%
	IRR	17.9%	17.9%	26.7%	-	16.3%	9.6%
2020年	NBV構成比	100%	26%	32%	-	40%	3%
	新契約マージン(対APE)	46.5%	29.5%	48.0%	-	73.1%	36.2%
	IRR	16.5%	19.9%	30.1%	-	12.6%	17.4%
2019年	NBV構成比	100%	26%	23%	6%	40%	4%
	新契約マージン(対APE)	42.2%	31.5%	46.9%	19.8%	63.1%	43.9%
	IRR	15.8%	17.8%	25.5%	14.4%	13.3%	20.1%
2018年	NBV構成比	100%	25%	22%	15%	36%	4%
	新契約マージン(対APE)	39.3%	29.5%	49.6%	23.0%	62.2%	36.5%
	IRR	18.7%	24.8%	21.4%	15.0%	16.9%	19.6%

※ IRR(内部収益率)は、全保険期間における配当可能利益が契約引受けのために投資された資本と等しくなる割引率

新契約マージン(対APE)及びIRR(内部収益率)の各国・地域別状況(欧州)

		フランス	ドイツ	スイス	ベルギー	イタリア	スペイン
2022年	NBV構成比	28%	5%	12%	2%	4%	2%
	新契約マージン(対APE)	23.0%	30.4%	35.0%	60.4%	27.7%	38.0%
	IRR	16.5%	24.5%(フランス以外の欧州)				
2021年	NBV構成比	29%	9%	9%	2%	4%	2%
	新契約マージン(対APE)	29.1%	56.1%	44.4%	64.2%	29.9%	52.9%
	IRR	17.9%	26.7%(フランス以外の欧州)				
2020年	NBV構成比	26%	9%	15%	2%	5%	2%
	新契約マージン(対APE)	29.5%	59.3%	50.9%	37.3%	35.2%	39.9%
	IRR	17.8%	30.1%(フランス以外の欧州)				
2019年	NBV構成比	26%	8%	6%	2%	5%	2%
	新契約マージン(対APE)	31.5%	55.5%	46.7%	52.4%	33.2%	60.3%
	IRR	17.8%	25.5%(フランス以外の欧州)				
2018年	NBV構成比	25%	7%	7%	2%	4%	3%
	新契約マージン(対APE)	29.5%	53.0%	53.0%	66.5%	30.7%	79.5%
	IRR	24.8%	21.4%(フランス以外の欧州)				

※ IRR(内部収益率)は、全保険期間における配当可能利益が契約引受けのために投資された資本と等しくなる割引率

新契約マージン(対APE)及びIRR(内部収益率)の各国・地域別状況(アジア)

		日本	香港	アジア高成長
2022年	NBV構成比	36%	6%	6%
	新契約マージン(対APE)	121.3%	34.4%	19.8%
	IRR	N.A.	N.A.	N.A.
2021年	NBV構成比	32%	6%	5%
	新契約マージン(対APE)	123.1%	34.9%	22.8%
	IRR	N.A.	N.A.	N.A.
2020年	NBV構成比	28%	5%	6%
	新契約マージン(対APE)	133.1%	46.5%	29.4%
	IRR	N.A.	N.A.	N.A.
2019年	NBV構成比	25%	8%	6%
	新契約マージン(対APE)	120.3%	44.4%	27.5%
	IRR	N.A.	N.A.	N.A.
2018年	NBV構成比	20%	8%	8%
	新契約マージン(対APE)	97.8%	47.2%	37.9%
	IRR	N.A.	N.A.	N.A.

※ IRR(内部収益率)は、全保険期間における配当可能利益が契約引受けのために投資された資本と等しくなる割引率

## 2 | Allianz

### (1)全体の状況

2022年の新契約価値(NBV)は、2021年に比べてほぼ横ばいの25.26億ユーロとなった。2021年には2つの大型の企業契約による影響があり、これを除けば、①元本保証が100%未満の商品へのシフトの継続により、一般勘定貯蓄・年金の新契約シェアが10%に低下する等の商品ミックスが改善したこと、②フランスで全ての商品のマージンが改善し、22%増加したこと、等により、8%の増加になった。

新契約マージン(New Business Margin)(=新契約価値/新契約保険料現在価値(PVNB))は、商品ミックスの改善と金利の上昇によって、2021年に比べて0.6%ポイント上昇して、3.8%となった。

新契約マージン(New Business Margin)(=新契約価値/新契約年換算保険料(APE))は、2021年に比べて1.5%ポイント上昇して、27.8%となった。

また、新契約保険料現在価値(PVNB)は、主としてドイツにおける割引率の上昇と100%未満の元本保証の一時払保険料契約の減少、2021年の2件の大型の企業契約の存在(約63億ユーロ)、イタリアでのユニットリンク売上高の減少等により、15.7%減少して696.16億ユーロとなった。

新契約年換算保険料(APE)は、5.6%減少して90.76億ユーロとなった。

生命保険事業の新契約の状況

(単位:百万ユーロ)

	NBV	新契約マージン (対PVNBP)	新契約マージン (対APE)	PVNBP	APE
①2022年	2,526	3.8%	27.8%	69,616	9,076
②2021年	2,527	3.2%	26.3%	82,565	9,615
③ ①/②-1	▲0.1%	0.6%ポイント	1.5%ポイント	▲15.7%	▲5.6%

(2)新契約マージン(対 PVNBP)の商品タイプ別状況

新契約保険料現在価値(PVNBP)及び新契約マージン(対 PVNBP)の商品タイプ別状況は、以下の図表の通りとなっている。

新契約保険料現在価値(PVNBP)の構成比は、保証付貯蓄・年金が9.6%(2021年は12.2%、以下同様)、高資本効率商品が47.6%(41.9%)、ユニットリンクが24.4%(25.2%)、保障&医療が18.4%(20.8%)となっている。これにより、(保証付貯蓄・年金以外の)高資本効率商品等の会社の優先商品のシェアは、2017年の76%から2022年の90%に上昇した。

一方で、2022年の新契約マージン(対 PVNBP)は、全ての商品タイプで上昇したが、特に高資本効率商品では3.2%から3.9%に、保障・医療では5.4%から6.0%に上昇した。

新契約マージン(対PVNBP)の商品タイプ別状況

(単位:百万ユーロ)

		全体	保証付 貯蓄・年金	高資本 効率商品	ユニットリンク	保障・医療
2022年	PVNBP	69,616	6,663	33,112	17,000	12,841
	PVNBP構成比	100%	9.6%	47.6%	24.4%	18.4%
	新契約マージン(対PVNBP)	3.8%	1.8%	3.9%	2.7%	6.0%
2021年	PVNBP	82,565	10,088	34,564	20,778	17,135
	PVNBP構成比	100%	12.2%	41.9%	25.2%	20.8%
	新契約マージン(対PVNBP)	3.2%	1.1%	3.2%	2.5%	5.4%
2020年	PVNBP	65,448	8,894	29,184	15,971	11,399
	PVNBP構成比	100%	13.6%	44.6%	24.4%	17.4%
	新契約マージン(対PVNBP)	2.8%	1.1%	2.6%	2.2%	5.5%
2019年	PVNBP	70,898	13,414	32,273	14,301	10,910
	PVNBP構成比	100%	18.9%	45.5%	20.2%	15.4%
	新契約マージン(対PVNBP)	3.2%	2.3%	3.2%	2.4%	5.4%
2018年	PVNBP	62,961	11,341	26,138	16,221	9,261
	PVNBP構成比	100%	18.0%	41.5%	25.8%	14.7%
	新契約マージン(対PVNBP)	3.6%	2.7%	3.8%	2.5%	5.4%

(参考)営業利益の商品タイプ別内訳

営業利益の商品タイプ別内訳は、以下の図表の通りで、保有ベースでは、保証付貯蓄・年金の構成比が低下し、高資本効率商品の構成比が上昇している。

生命保険事業の営業利益の商品タイプ別内訳

(単位:百万ユーロ)

	全体		保証付 貯蓄・年金		高資本 効率商品		ユニット リンク		保障・医療	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
2022年	5,282	100%	2,070	39%	1,112	21%	651	12%	1,450	27%
2021年	5,011	100%	2,071	41%	910	18%	578	12%	1,452	29%
2020年	4,359	100%	2,003	46%	781	18%	488	11%	1,087	25%
2019年	4,708	100%	2,421	51%	883	19%	552	12%	851	18%
2018年	4,152	100%	1,995	49%	823	19%	449	11%	885	21%

### (3)新契約マージン(対 PVNBP)等の地域別状況

新契約価値(NBV)、新契約保険料現在価値(PVNBP)及び新契約マージン(対 PVNBP)の地域別状況は、以下の図表の通りとなっている。

新契約マージンは、アジア・太平洋、中東欧で高く、フランス、イタリア等では相対的に低くなっている。2020年は2019年と比較して、欧米各国において主として低金利の影響を受けて低下し、2021年には2020年と比較して多くの国で水準を回復ないしは上昇させていたが、2022年には金利の上昇の影響により、アジア・太平洋を除く各国・地域で上昇している。特に、ドイツの生命保険で2.9%から3.9%に1.0%ポイント、スイスで1.7%から3.2%に1.5%ポイント、中東欧で4.8%から7.2%に2.4%ポイントと、大きく上昇している。なお、Aviva Polandの買収により、新契約価値は53百万ユーロ増加している。

新契約マージンの地域別状況

(単位:百万ユーロ)

		全体	ドイツ 生命保険	ドイツ 医療保険	フランス	イタリア	中東欧
2022年	PVNBP	65,626	17,155	3,310	9,308	8,771	N.A.
	新契約価値	2,526	667	152	235	192	108
	新契約価値構成比	100%	26%	6%	9%	8%	4%
	新契約マージン(対PVNBP)	3.8%	3.9%	4.6%	2.5%	2.2%	7.2%
2021年	PVNBP	78,650	21,841	3,466	9,865	13,447	N.A.
	新契約価値	2,527	631	150	192	264	56
	新契約価値構成比	100%	25%	6%	8%	10%	2%
	新契約マージン(対PVNBP)	3.2%	2.9%	4.3%	1.9%	2.0%	4.8%
2020年	PVNBP	61,497	22,281	2,361	6,921	8,650	N.A.
	新契約価値	1,743	672	84	55	145	40
	新契約価値構成比	100%	25%	6%	8%	10%	2%
	新契約マージン(対PVNBP)	3.2%	2.9%	4.3%	1.9%	2.0%	4.8%
2019年	PVNBP	67,046	24,691	2,007	7,426	8,389	N.A.
	新契約価値	2,167	872	70	105	201	50
	新契約価値構成比	100%	40%	3%	5%	9%	2%
	新契約マージン(対PVNBP)	3.2%	3.5%	3.5%	1.4%	2.4%	5.4%
2018年	PVNBP	58,516	18,819	1,632	7,987	8,244	N.A.
	新契約価値	2,087	764	59	183	199	44
	新契約価値構成比	100%	37%	3%	9%	10%	2%
	新契約マージン(対PVNBP)	3.6%	4.1%	3.6%	2.3%	2.4%	5.8%

		ベネルクス	スペイン	スイス	トルコ	米国	アジア 太平洋
2022年	PVNBP	1,452	N.A.	N.A.	-	14,641	5,645
	新契約価値	41	19	31	-	597	303
	新契約価値構成比	2%	1%	1%	-	24%	12%
	新契約マージン(対PVNBP)	2.8%	3.2%	3.2%	-	4.1%	5.4%
2021年	PVNBP	1,691	N.A.	N.A.	N.A.	13,443	5,953
	新契約価値	45	31	17	39	530	338
	新契約価値構成比	2%	1%	1%	2%	21%	13%
	新契約マージン(対PVNBP)	2.6%	2.7%	1.7%	6.7%	3.9%	5.7%
2020年	PVNBP	1,953	N.A.	N.A.	N.A.	12,115	5,056
	新契約価値	37	24	13	39	240	297
	新契約価値構成比	2%	1%	1%	2%	14%	17%
	新契約マージン(対PVNBP)	2.2%	2.6%	1.3%	6.1%	2.4%	5.8%
2019年	PVNBP	1,713	N.A.	N.A.	N.A.	9,869	5,150
	新契約価値	38	38	18	38	338	290
	新契約価値構成比	2%	2%	1%	2%	16%	13%
	新契約マージン(対PVNBP)	1.9%	3.5%	1.5%	5.7%	2.8%	5.7%
2018年	PVNBP	1,725	N.A.	N.A.	N.A.	10,622	5,226
	新契約価値	40	50	18	34	374	249
	新契約価値構成比	2%	2%	1%	2%	18%	12%
	新契約マージン(対PVNBP)	2.3%	4.5%	2.3%	5.4%	3.5%	4.8%

### 3 | Generali

#### (1)全体の状況

2022年の**新契約価値(NBV)**は、2021年に比べて7.2%増加(比較ベースでは、4.2%増加、以下同様)して、24.78億ユーロとなった。これは、販売量が減少したにも関わらず、収益性が改善されたことによる。

**新契約マージン(New Business Margin)**(=新契約価値/新契約保険料現在価値(PVNB))は、金利の大幅な上昇、最も収益性の高い保障とユニットリンク型の商品ミックスの再調整及び新商品機能の継続的な改善により、2021年に比べて0.83%ポイント上昇(0.86%ポイント上昇)して、5.35%となった。

**新契約マージン(New Business Margin)**(=新契約価値/新契約年換算保険料(APE))は、5.5%ポイント上昇(6.0%ポイント上昇)して、51.7%となった。

2021年に比べて、**新契約保険料現在価値(PVNB)**は、9.5%減少(12.6%減少)して463.41億ユーロとなり、**新契約年換算保険料(APE)**は4.2%減少(7.9%減少)して47.98億ユーロとなった。これらの減少は主に新契約年間保険料の減少(▲10.8%)によるものであり、PVNBについては、2022年以降の金利上昇に伴う割引効果の増加によってさらに減少率が増幅された形になっている。

なお、**新契約IRR(内部収益率)**は、3.8%ポイント増加して28.1%となった。これは、商品ミックスの改善、その計算の基礎となる一般的に高いリアルワールドの経済前提及び初年度経費負担の軽減による。

#### 生命保険事業の新契約の状況

(単位:百万ユーロ)

	NBV	新契約マージン (対PVNB)	新契約マージン (対APE)	PVNB	APE	新契約IRR (内部収益率)
①2022年	2,478	5.35%	51.7%	46,341	4,798	28.1%
②2021年	2,313	4.52%	46.2%	51,192	5,009	24.3%
③ ①/②-1	7.2% (4.2%)	0.83%ポイント (0.86%ポイント)	5.5%ポイント (6.0%ポイント)	▲9.5% (▲12.6%)	▲4.2% (▲7.9%)	3.8%ポイント

(※)③の( )内は、為替レートや範囲等を同一とした比較ベース(comparable basis)の数値

#### (2)新契約の商品タイプ別、地域別の構成比

Generaliは、欧州において金利低下が進む中で、イタリアやドイツを中心に、保証利率の引き下げに加えて、無保証等の低資本集約商品のウェイトを高めてきている。

新契約の商品タイプ別、地域別の構成比については、次ページの図表の通りとなっている。

グループ全体での商品タイプ別の内訳は、貯蓄が38%(2021年は41%、以下同様)、保障が25%(25%)、ユニットリンクが36%(34%)となり、2021年に比べて貯蓄のウェイトが低下し、ユニットリンクのウェイトが増加している。

地域別に見た場合、イタリアでは、貯蓄が61%と高い構成比で、ユニットリンクが33%となっているのに対して、保障はわずか6%となっている。一方で、中東欧では、保障が59%と高くなっており、ユニットリンクが31%であるのに対して、貯蓄は11%となっている。

新契約APEの地域別構成比及び地域毎のPVNBPによる商品タイプ別構成比

		全体	イタリア	フランス	ドイツ	中東欧	国際	
2022年	PVNBP構成比	100%	39%	26%	20%	5%	9%	
	APE構成比	100%	42%	26%	12%	5%	15%	
	商品タイプ別の 構成比 (各国毎)	貯蓄	38%	61%	22%	25%	11%	35%
		保障	25%	6%	32%	39%	59%	40%
ユニットリンク		36%	33%	46%	36%	31%	25%	
2021年	PVNBP構成比	100%	38%	25%	24%	5%	9%	
	APE構成比	100%	41%	26%	14%	4%	14%	
	商品タイプ別の 構成比 (各国毎)	貯蓄	41%	61%	26%	32%	13%	33%
		保障	25%	5%	29%	39%	57%	44%
ユニットリンク		34%	34%	45%	29%	30%	24%	
2020年	PVNBP構成比	100%	44%	20%	23%	4%	8%	
	APE構成比	100%	48%	20%	14%	4%	14%	
	商品タイプ別の 構成比 (各国毎)	貯蓄	44%	64%	25%	33%	17%	33%
		保障	24%	4%	37%	39%	53%	46%
ユニットリンク		31%	33%	37%	28%	31%	21%	
2019年	PVNBP構成比	100%	43%	23%	21%	5%	9%	
	APE構成比	100%	45%	23%	14%	4%	13%	
	商品タイプ別の 構成比 (各国毎)	貯蓄	52%	75%	41%	33%	21%	36%
		保障	22%	3%	29%	36%	51%	45%
ユニットリンク		26%	22%	31%	30%	28%	19%	
2018年	PVNBP構成比	100%	43%	22%	19%	5%	12%	
	APE構成比	100%	44%	22%	14%	4%	17%	
	商品タイプ別の 構成比 (各国毎)	貯蓄	49%	68%	40%	31%	23%	37%
		保障	20%	3%	29%	38%	47%	31%
ユニットリンク		31%	30%	32%	31%	30%	33%	

(3)新契約マージン(対 PVNBP)の商品タイプ別状況

新契約保険料現在価値(PVNBP)、新契約価値(NBV)及びその比率としての新契約マージン(対 PVNBP)の商品タイプ別状況は、以下の図表の通りとなっている。

新契約価値(NBV)については、貯蓄が大きく進展したが、保障とユニットリンクはほぼ横ばいだった。

新契約マージン(対 PVNBP)については、保障が 8.46%と高く、ユニットリンクが 4.92%で続き、貯蓄は 3.70%となっている。2021年との比較では、全ての商品タイプで上昇した。

PVNBP、NBV及び新契約マージン(対PVNBP)の商品タイプ別状況

(単位:百万ユーロ)

		全体	貯蓄	保障	ユニットリンク
①2022年	PVNBP	46,341	17,723	11,747	16,872
	NBV	2,478	655	994	830
	新契約マージン(対PVNBP)	5.35%	3.70%	8.46%	4.92%
②2021年	PVNBP	51,192	20,945	12,647	17,599
	NBV	2,313	487	989	837
	新契約マージン(対PVNBP)	4.52%	2.32%	7.82%	4.75%
③ 2021年から 2022年への変化	PVNBP	▲12.6%	▲18.4%	▲8.8%	▲8.4%
	NBV	4.2%	32.3%	▲3.0%	▲3.5%
	新契約マージン(対PVNBP)	0.86%ポイント	1.42%ポイント	0.51%ポイント	0.25%ポイント

※ 変化は、比較ベース(comparable basis)の数値

(4)新契約マージンの地域別状況

新契約マージンとIRR(内部収益率)の地域別状況は、次ページの図表の通りとなっている。

新契約マージン(対 PVNBP)は、イタリアや(構成比は低いものの)中東欧が高くなっている。一方で、IRRは、フランスやドイツで高くなっている。

## 新契約マージン等の地域別状況

		全体	イタリア	フランス	ドイツ	中東欧	国際
2022年	新契約マージン構成比	100%	45%	21%	14%	6%	14%
	新契約マージン(対APE)	51.7%	56.2%	42.3%	58.5%	66.4%	45.2%
	新契約マージン(対PVNBP)	5.35%	6.25%	4.32%	3.66%	6.83%	7.28%
	IRR	28.1%	27.3%	36.0%	48.1%	11.9%	26.4%
2021年	新契約マージン構成比	100%	46%	16%	16%	7%	16%
	新契約マージン(対APE)	46.2%	51.8%	27.7%	50.5%	74.5%	50.9%
	新契約マージン(対PVNBP)	4.52%	5.51%	2.87%	2.91%	6.79%	8.16%
	IRR	24.3%	26.3%	15.9%	40.4%	13.1%	39.3%
2020年	新契約マージン構成比	100%	50%	11%	16%	8%	16%
	新契約マージン(対APE)	39.7%	41.5%	20.5%	45.1%	74.7%	46.6%
	新契約マージン(対PVNBP)	3.94%	4.46%	2.06%	2.75%	6.86%	7.60%
	IRR	22.3%	30.1%	10.7%	32.9%	15.9%	23.1%
2019年	新契約マージン構成比	100%	52%	11%	15%	8%	15%
	新契約マージン(対APE)	38.9%	44.6%	17.6%	40.6%	72.8%	43.9%
	新契約マージン(対PVNBP)	3.89%	4.71%	1.78%	2.73%	6.97%	6.65%
	IRR	20.2%	26.5%	10.1%	46.6%	16.8%	16.4%
2018年	新契約マージン構成比	100%	52%	12%	12%	8%	17%
	新契約マージン(対APE)	41.6%	49.4%	22.5%	37.3%	72.6%	41.2%
	新契約マージン(対PVNBP)	4.35%	5.30%	2.29%	2.83%	7.03%	6.05%
	IRR	23.6%	28.4%	12.8%	32.6%	20.3%	22.3%

(※) 地域の所属国の組替え等に伴い、過去の数値の修正等も行われているので、可能な限り、最新公表ベースの数値に置き換えている。

### (参考) 元受保険料の商品タイプ別内訳

元受保険料の商品タイプ別内訳は、保有ベースで、貯蓄・年金の構成比が2021年から5割を下回っているが、2022年はさらに低下した。

### 生命保険事業の元受保険料(Gross direct premiums)の商品タイプ別内訳 (単位: 百万ユーロ)

	全体		貯蓄・年金		保障		ユニットリンク	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
① 2022年	50,608	100%	23,528	46%	11,162	22%	15,918	31%
② 2021年	49,536	100%	23,752	48%	10,479	21%	15,305	31%
③ ①-②	1,072	-	(224)	▲2%p	683	+1%p	613	0%p

なお、低資本商品の責任準備金の比率は2018年の56.7%、2019年の60.5%、2020年の62.7%、2021年の67.7%に対して、2022年はさらに上昇して67.8%となった。

## 4 | Aviva

### (1) 全体の状況

2022年の新契約価値(NBV)は、複数国からの事業撤退による影響から2021年に比べて20.8%減少して、8.51億ポンドとなった。

新契約マージン(New Business Margin) (= 新契約価値 / 新契約保険料現在価値(PVNBP))は、英国とアイルランドの生命保険事業について、商品の収益率の改善により、2021年から0.4%ポイント上昇して2.3%となった。

新契約保険料現在価値(PVNBP)は、割引率の上昇の影響を受けて、2021年に比べて25.4%減少して、344.51億ポンドとなった。ただし、英国とアイルランドの生命保険事業に限れば、6.6%の減少となった。

生命保険事業の新契約の状況

(単位:百万ポンド)

	NBV	英国&アイルランド生命 新契約マージン (対PVNBP)	PVNBP	生命保険 PVNBP	英国&アイルランド生命 PVNBP
①2022年	851	2.3%	34,451	34,451	33,279
②2021年	1,074	1.9%	46,202	36,747	35,625
③ ①/②-1	▲20.8%	0.4%ポイント	▲25.4%	▲6.2%	▲6.6%

(※)2021年のPVNBPには、非継続事業に対応する 9,455が含まれている。

(2)新契約マージン(対 PVNBP)の商品タイプ別内訳(英国とアイルランドの生命保険事業)

英国とアイルランドにおける生命保険事業の新契約保険料現在価値(PVNBP)、新契約価値(NBV)及び新契約マージン(対 PVNBP)の商品タイプ別内訳は、以下の図表の通りとなっている。

新契約保険料現在価値(PVNBP)は、年金・エクイティリリースが大きく減少したことにより、保障・医療では販売好調により増加したものの、全体では減少した。

新契約価値(NBV)は、年金・エクイティリリースはほぼ横ばいだったものの、貯蓄・退職や保障・医療が2021年に引き続いて大きく増加したことから、全体でも増加した。

新契約マージン(対 PVNBP)は、全ての商品タイプで増加し、特に保障・医療は8.8%と前年の7.9%からさらに高い水準となった。

英国&アイルランドの生命保険事業の新契約マージン(対PVNBP)等の商品タイプ別状況

(単位:百万ポンド)

		全体	貯蓄・退職 その他	年金・エクイ ティリリース	保障・医療	アイルランド 生保
2022年	PVNBP	33,279	22,877	6,238	2,507	1,657
	NBV	767	229	281	221	36
	新契約マージン(対PVNBP)	2.3%	1.0%	4.5%	8.8%	2.2%
2021年	PVNBP	35,625	23,718	7,887	2,374	1,646
	NBV	668	178	280	188	22
	新契約マージン(対PVNBP)	1.9%	0.8%	3.6%	7.9%	1.3%
2020年	NBV	675	140	356	167	12
	PVNBP	29,258	17,777	7,508	2,439	1,534
	新契約マージン(対PVNBP)	2.3%	0.8%	4.7%	6.8%	0.8%
2019年	NBV	600	140	284	168	8
	PVNBP	29,659	19,006	6,182	2,382	1,589
	新契約マージン(対PVNBP)	2.1%	0.7%	4.6%	7.1%	0.5%

(3)新契約マージン(対 PVNBP)の地域別状況

新契約価値(NBV)及び新契約保険料現在価値(PVNBP)の地域別内訳は、次ページの図表の通りとなっている。

英国とアイルランドの生命保険事業では、ワークプレイスでの好調な実績が BPA(バルク年金)とプラットフォームの売上減少によって相殺されたことにより、新契約保険料現在価値(PVNBP)は 6.6%減少して、332.79 億ポンドとなった。一方で新契約価値(NBV)は、全商品の利益率の改善により、15%増加して 7.67 億ポンドになった。

国際投資は中国、シンガポール、インド等に関係しているが、新契約保険料現在価値(PVNBP)と新契約価値(NBV)とも未だ規模は小さいものの、着実に伸展してきている。

## NBV及びPVNBPの地域別内訳

(単位:百万ポンド)

		全体	英国& アイルランド	国際投資	Aviva Investors	非継続事業
2022年	NBV	851	767	84	-	-
	PVNBP	34,451	33,279	1,172	-	-
2021年	NBV	1,074	668	78	-	328
	PVNBP	46,202	35,625	1,121	-	9,456
2020年	NBV	1,260	675	29	9	547
	PVNBP	43,358	29,258	663	1,266	12,170

(参考)営業利益の商品タイプ別内訳

英国生命保険事業の営業利益の商品タイプ別内訳は、以下の図表の通りとなっている。

2021年は、貯蓄・退職や保障・医療が大きく増加し、年金・エクイティリリースが減少していたが、2022年は、貯蓄・退職が減少、保障・医療は横這いであるのに対して、年金・エクイティリリースが大きく増加した。

2022年のグループ全体の営業利益のうち、年金・エクイティリリースが46%と高い割合を占めている。

## 英国生命保険事業の営業利益の商品別内訳

(単位:百万ポンド)

	全体	貯蓄・退職	年金・エクイ ティリリース	保障・医療	レガシー	その他
① 2022年	1,858	131	851	229	369	278
② 2021年	1,417	147	645	229	319	77
③ 増加率(①/②-1)	31%	▲11%	32%	0%	16%	261%

※「レガシー」は、有配当契約やBonds等のもはや積極的に販売されていない商品、「その他」には、医療及び前提やモデルの変更の影響を含む。

## 5 | Aegon

## (1)全体の状況

2022年の新契約価値(MCVNB:Market consistent value of new business)は、2021年に比べて、2.2%減少して、5.26億ユーロとなった。これは、新契約規模の減少を商品ミックスの改善でカバーできなかったことによる。

新契約マージン(New Business Margin)(=新契約価値/新契約年換算保険料(APE))は、2021年に比べて1.2%ポイント低下して、15.0%となった。

新契約年換算保険料(APE)は、2021年に比べて6.1%増加して35.18億ユーロとなった。2021年に引き続き、米国でのインデックス付きユニバーサルライフ等の新契約販売の好調等が貢献している。

## 生命保険事業の新契約の状況

(単位:百万ユーロ)

	NBV	新契約マージン (対APE)	APE
① 2022年	526	15.0%	3,518
② 2021年	538	16.2%	3,316
③ ①/②-1	▲2.2%	▲1.2%ポイント	6.1%

## (2)新契約価値(NBV)及び新契約年換算保険料(APE)の地域別状況

新契約価値(NBV)、新契約年換算保険料(APE)の地域別状況は、次ページの図表の通りとなっている。

各国・地域でのAPEは増加したが、NBVはオランダ以外では減少した。NBVでは米州が6割超を占め

ており、その位置付けが極めて高くなっている。

#### NBV及びAPEの地域別状況

(単位:百万ユーロ)

		全体	オランダ	英国	米州	国際
2022年	NBV	526	16	84	350	76
	APE	3,518	234	2,124	751	419
2021年	NBV	538	8	89	362	78
	APE	3,316	212	2,086	704	315
2021年	NBV	538	8	89	362	78
	APE	5,466	438	2,086	2,512	431
2020年	NBV	262	(5)	47	134	86
	APE	3,045	94	1,533	668	750
2019年	NBV	464	2	89	244	128
	APE	3,410	204	2,086	739	381

(※)APEはモデル化された新契約のAPE。

#### 3)新契約マージンの地域別状況

新契約マージン(対APE)の地域別状況は、以下の図表の通りとなっている。

商品性の違いもあり、相対的に、米州の水準が高く、英国の水準が低くなっている。全体数値はAPE規模の大きい英国の影響を受けている。2021年との比較では、オランダは上昇したが、その他の国・地域では低下した。

#### 新契約マージン等の地域別状況

		全体	オランダ	英国	米州	国際
2022年	NBV構成比	100%	3%	16%	67%	14%
	新契約マージン(対APE)	15.0%	7.1%	4.0%	46.6%	18.1%
2021年	NBV構成比	100%	3%	16%	67%	14%
	新契約マージン(対APE)	16.2%	3.8%	4.3%	51.4%	24.8%
2021年	NBV構成比	100%	1%	17%	67%	14%
	新契約マージン(対APE)	9.8%	1.8%	4.3%	14.4%	18.1%
2020年	NBV構成比	100%	▲2%	18%	51%	33%
	新契約マージン(対APE)	9.9%	-	-	-	-
2020年	新契約マージン(対PVNBP)	0.8%	▲0.3%	0.4%	0.6%	5.0%
	NBV構成比	100%	0%	19%	52%	28%
2019年	新契約マージン(対APE)	13.6%	-	-	-	-
	新契約マージン(対PVNBP)	0.8%	0.1%	0.7%	0.8%	6.0%

※ 新契約マージンは、APE(年換算保険料)及びPVNBP(新契約保険料現在価値)に対する新契約価値MCVNB(market consistent value of new business)の比率(ただし、預託契約を除いたベース)、2021年からのAPEはモデル化された新契約のAPE。

## 6 | Zurich

### (1)全体の状況

生命保険事業の2022年の新契約価値(NBV)は、2021年に比べて21%減少(為替や買収や売却の調整を行った「同一ベース」では15%減少、以下同様)して、7.61億ドルとなった。

新契約マージン(New Business Margin)(=新契約価値/新契約年換算保険料)は、2021年に比べて4.3%ポイント低下して、24.8%となった。これは、モデリングと前提の更新の影響、優先事業内でのあまり好ましくない商品構成及び主に高い割引率に関連する不利な経済的变化による。

新契約年換算保険料(APE)は、2021年に比べて7%減少(1%増加)して、35.55億ドルとなった。資本効率の高い貯蓄及び保障商品の売上高の増加により、同一ベースでは1%増加したものの、主要通貨に対する米ドルの上昇によって相殺されて、報告ベースでは7%減少した。

なお、Zurichは保障、ユニットリンク及び企業貯蓄商品に焦点を当てており、これらの商品でAPEの95%を占めている。また保障契約がNBVの70%を占めている。

生命保険事業の新契約の状況 (単位:百万ドル)

	NBV	新契約マージン (対APE)	APE
①2022年	761	24.8%	3,555
②2021年	959	29.1%	3,824
③ ①/②-1	▲21% (▲15%)	▲4.3ポイント	▲7% (+1%)

(※)③の( )内は、新契約価値については、現地通貨ベースで買収や売却の調整後、PVNBとAPEについては、現地通貨ベースの数値

(2)新契約マージン等の地域別状況

新契約年換算保険料(APE)と新契約マージン(対 APE)の地域別内訳は、以下の図表の通りとなっている。

新契約マージン(対 APE)については、2021年との比較では、各地域で水準が低下しているが、特にアジア・太平洋が前年の52.7%から24.1%に大きく低下している。

新契約年換算保険料(APE)については、2021年に比べて1%(同一ベース、以下同様)増加したが、地域別には以下の通りとなっている。

EMEA(欧州・中東・アフリカ)では、主に、スペインでの利益率の低い個人貯蓄の減少と、下半期のユニットリンク売上高の鈍化により、スイスでの企業貯蓄の増加により一部相殺されたものの、3%減少した。

南米では、保障の成長により、8%増加した。

アジア太平洋では、日本とオーストラリアでの販売好調の恩恵を受け、下半期の成長に牽引されて、14%増加した。

北米では、下半期に実施された保険引受対策の影響により、10%減少した。

新契約のAPE、NBV及び新契約マージン(対APE)の地域別状況 (単位:百万ドル)

		全体	EMEA(欧州・ 中東・アフリカ)	北米	中南米	アジア 太平洋
2022年	APE	3,555	2,130	108	1,111	206
	NBV	761	557	9	146	49
	NBV構成比	100%	73%	1%	19%	6%
	新契約マージン(対APE)	24.8%	27.1%	8.4%	20.7%	24.1%
2021年	APE	3,824	2,465	120	1,041	198
	NBV	959	668	24	164	103
	NBV構成比	100%	64%	3%	27%	5%
	新契約マージン(対APE)	29.1%	28.6%	19.8%	25.5%	52.7%
2020年	APE	3,625	2,300	108	1,005	213
	NBV	788	500	44	142	101
	NBV構成比	100%	63%	6%	18%	13%
	新契約マージン(対APE)	25.1%	22.7%	41.0%	23.0%	47.9%
2019年	APE	4,332	2,760	139	1,164	268
	NBV	976	576	49	140	211
	NBV構成比	100%	59%	5%	14%	22%
	新契約マージン(対APE)	25.8%	21.9%	35.2%	18.9%	79.9%
2018年	APE	4,639	2,890	82	1,437	231
	NBV	981	619	15	161	186
	NBV構成比	100%	63%	2%	16%	19%
	新契約マージン(対APE)	24.1%	22.8%	18.3%	15.3%	82.2%

## (参考) Prudential plc<sup>5</sup>

### (1) 全体の状況

2022年の新契約利益(New Business Profit:NBP)は、2021年に比べて14%減少(為替固定ベースでは11%減少、以下同様)して、21.84億ドルとなった。

新契約マージン(New Business Margin)(対PVNBP)(=新契約利益/新契約保険料現在価値(PVNBP))は、2021年と同じ10%だった。また、新契約マージン(対APE)は、2021年に比べて10%ポイント低下(11%ポイント低下)して、50%となった。

2021年に比べて、新契約保険料現在価値(PVNBP)は7%減少(4%減少)して224.06億ドルとなり、新契約年換算保険料(APE)は、5%増加(9%増加)して、43.93億ドルとなった。

#### 生命保険事業の新契約の状況

(単位:百万ドル)

	NBP	新契約マージン (対PVNBP)	新契約マージン (対APE)	PVNBP	APE
①2022年	2,184	10%	50%	22,406	4,393
②2021年	2,526	10%	60%	24,153	4,194
③ ①/②-1	▲14% (▲11%)	0%ポイント	▲10ポイント (▲11%ポイント)	▲7% (▲4%)	5% (9%)

(※)③の( )内は、為替固定ベースの数値。

### (2) 新契約年換算保険料(APE)の地域別内訳

Prudentialは、アジアの主要各国・地域において、有意な新契約年換算保険料(APE)を計上してきている。

Prudentialにとって、新契約利益とEV(エンベディッドバリュー)において、過去において最も重要な市場は香港だったが、2020年の業績が、香港の中国本土の個人への販売が中国本土との国境の閉鎖により大幅に削減されたことから、大きな影響を受けた。地域別の新契約年換算保険料(APE)では、2021年からは中国に抜かれ、2022年において香港はシンガポールに次いで第3位となった。

なお、各地域における市場シェアやランキングの状況については、前回の基礎研レポート「[欧州大手保険グループの地域別の事業展開状況ー2022年決算数値等に基づく現状分析ー](#)」(2023.5.9)で報告している。

2021年との比較では、中国、台湾、ベトナムにおいて二桁進展する等、引き続き高い成長率を確保してきている。

#### 新契約APEの地域別内訳

(単位:百万ドル)

	全体		アジア		アフリカ	
		構成比		構成比		構成比
2022年	4,393	100%	4,244	97%	149	3%
2021年	4,194	100%	4,060	97%	134	3%
2020年	3,808	100%	3,696	97%	112	3%

<sup>5</sup> Prudentialについては、2019年10月に、アジアと米国で保険事業を展開する Prudential plc と欧州で保険事業と投資管理事業を展開する M&G plc に分割され、さらに、Prudential plc は、2021年9月に米国事業である Jackson Financial Inc. をグループから分離した。その意味で、Prudential plc は欧州の保険会社ではないが、アジアにおいて重要な位置付けを有している会社であることから、(参考)として、その数値を掲載している。

新契約APEの主要地域別内訳(アジアの主要国)

(単位:百万ドル)

	香港		インドネシア		シンガポール		マレーシア		フィリピン	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
2022年	522	12%	247	6%	770	18%	359	8%	182	4%
2021年	550	13%	252	6%	743	18%	461	11%	177	4%
2020年	758	20%	267	7%	610	16%	346	9%	139	4%
2019年	2,016	27%	390	5%	660	9%	355	5%	158	2%
2018年	2,266	32%	315	4%	617	9%	335	5%	117	2%

	タイ		ベトナム		中国		台湾		インド	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
2022年	235	5%	298	7%	884	20%	503	11%	223	5%
2021年	218	5%	242	6%	776	19%	397	9%	228	5%
2020年	183	5%	236	6%	582	15%	387	10%	177	5%
2019年	159	2%	217	3%	590	8%	332	4%	260	4%
2018年	156	2%	195	3%	403	6%	282	4%	287	4%

(3) 新契約利益 (NBP) 及び新契約マージンの地域別内訳

新契約利益(NBP)、APE、PVNBP、新契約マージン(対 APE)及び新契約マージン(対 PVNBP)の地域別内訳は、以下の図表の通りである。

新契約利益(NBP)では、シンガポールがトップで、第2位が中国、第3位が香港となっている。2021年に比べて、香港では大幅に減少し、シンガポールでも減少したのに対して、中国ではほぼ1割程度伸展している。

新契約マージン等の地域別状況

(単位:百万ドル)

		全体	中国	香港	インドネシア	マレーシア	シンガポール	その他
2022年	新契約利益(NBP)	2,184	387	384	125	159	499	630
	APE	4,393	884	522	247	359	770	1,611
	PVNBP	22,406	3,521	3,295	1,040	1,879	6,091	6,580
	新契約マージン(対APE)	50%	44%	74%	51%	44%	65%	39%
	新契約マージン(対PVNBP)	10%	11%	12%	12%	8%	8%	10%
2021年	新契約利益(NBP)	2,526	352	736	125	232	523	558
	APE	4,194	776	550	252	461	743	1,412
	PVNBP	24,153	3,761	4,847	1,067	2,137	6,214	6,127
	新契約マージン(対APE)	60%	45%	134%	50%	50%	70%	40%
	新契約マージン(対PVNBP)	10%	9%	15%	12%	11%	8%	9%
2020年	新契約利益(NBP)	2,802(2,201)	269	787	155	209	341	440
	APE	5,619(3,696)	582	758	267	346	610	1,133
	PVNBP	40,816(21,587)	2,705	5,095	1,154	2,023	5,354	5,256
	新契約マージン(対APE)	50%(60%)	46%	104%	58%	60%	56%	39%
	新契約マージン(対PVNBP)	7%(10%)	10%	15%	13%	10%	6%	8%
2019年	新契約利益(NBP)	4,405(3,502)	262	2,042	227	210	387	394
	APE	7,384(5,161)	590	2,016	390	355	660	1,150
	PVNBP	51,475(29,244)	2,586	12,815	1,668	2,090	4,711	5,374
	新契約マージン(対APE)	60%(68%)	44%	101%	58%	59%	59%	34%
	新契約マージン(対PVNBP)	9%(12%)	10%	16%	14%	8%	8%	7%

(※)地域の所属国の組替え等に伴い、過去の数値の修正等も行われているので、可能な限り、最新公表ベースの数値に置き換えている。

2019年及び2020年の( )内はアジア全体の数値(全体には、米国が含まれている)。

### 3—まとめ

以上、欧州大手保険グループの2022年の生命保険事業の新契約業績について、商品タイプ別、地域別の販売動向及び新契約マージン等の収益性の状況を中心に報告してきた。

#### 1 | 2022年実績のまとめ

これまで報告してきたように、各社の新契約の収益性評価のための（対外的に公表されている）指標は必ずしも統一されていない。ただし、各社とも、新契約マージン、新契約価値マージン、新契約利益等の名称の数値を用いて、商品タイプ別さらには地域別の数値を公表しているため、まずはこれらの数値をまとめておく。

##### (1)新契約マージンのグループ全体及び地域別状況

新契約マージンのグループ全体及び地域別の状況は、以下の図表の通りとなっている。

グループ全体の数値については、2020年はAvivaを除けば、一応PVNBP及びAPEの2つの指標に対する新契約マージンの数値を開示していたが、2021年からはAegonとZurichがPVNBPに対する新契約マージンの数値の開示を行っていない。

地域別では、欧州・米国に比較して、相対的にアジアが高くなっており、さらに欧州主要国の中でも、状況は必ずしも一律ではない。なお、AllianzやGeneraliは自国の水準がグループ全体の水準に比べて高くなっているが、AXAはそのような状況になっていない。

また、地域別の新契約マージンの水準を評価する上では、各市場における主要な商品タイプとの関係にも注意する必要がある。

##### 新契約マージン(NBV/PVNBP)の地域別状況の各社比較(2022年)

グループ	名称	分子	分母	全体	フランス	ドイツ	イタリア	英国	スペイン	米国	アジア
AXA	新契約価値マージン	NBV	PVNBP	3.9%	-	-	-	-	-	-	-
Allianz	新契約マージン	NBV	PVNBP	3.8%	2.5%	3.9%	2.2%	-	3.2%	4.1%	5.4%
Generali	新契約マージン	NBV	PVNBP	5.35%	4.32%	3.66%	6.25%	-	-	-	-
Aviva	新契約マージン	NBV	PVNBP	-	-	-	-	2.3%	-	-	-
Prudential	新契約利益	NBV	PVNBP	10%	-	-	-	-	-	-	-

(※)Allianzのドイツは生命保険、スペインはイベリア・中南米、Allianzのアジアはアジア・太平洋  
Prudentialはアジアの主要国別の数値を開示している。

##### 新契約マージン(NBP/APE)の地域別状況の各社比較(2022年)

グループ	名称	分子	分母	全体	フランス	ドイツ	イタリア	英国	スペイン	米国	アジア	
AXA	新契約価値マージン	NBV	APE	36.9%	23.0%	30.4%	35.0%	-	38.0%	-	62.8%	
Allianz	新契約マージン	NBV	APE	27.8%	-	-	-	-	-	-	-	
Generali	新契約マージン	NBV	APE	51.7%	42.3%	58.5%	56.2%	-	-	-	-	
Aegon	新契約マージン	NBV	APE	15.0%	-	-	-	-	-	-	-	
Zurich	新契約マージン	NBV	APE	24.8%	27.1%(EMEA)				-	-	8.4%	24.1%
Prudential	新契約利益	NBV	APE	50%	-	-	-	-	-	-	-	

(※)Aegonの米国は米州、Zurichのアジアはアジア・太平洋、米国は北米に対する数値  
Prudentialはアジアの主要国別の数値を開示している。

(参考)新契約マージン(NBV/PVNBP)の地域別状況の各社比較(2021年)

グループ	名称	分子	分母	全体	フランス	ドイツ	イタリア	英国	スペイン	米国	アジア
AXA	新契約価値マージン	NBV	PVNBP	3.8%	-	-	-	-	-	-	-
Allianz	新契約マージン	NBV	PVNBP	3.2%	1.9%	2.9%	2.0%	-	5.1%	3.9%	5.7%
Generali	新契約マージン	NBV	PVNBP	4.52%	2.87%	2.91%	5.51%	-	-	-	-
Aviva	新契約マージン	NBV	PVNBP	-	-	-	-	1.9%	-	-	-
Prudential	新契約利益	NBV	PVNBP	10%	-	-	-	-	-	-	-

(参考)新契約マージン(NBP/APE)の地域別状況の各社比較(2021年)

グループ	名称	分子	分母	全体	フランス	ドイツ	イタリア	英国	スペイン	米国	アジア
AXA	新契約価値マージン	NBV	APE	43.9%	29.1%	56.1%	44.4%	-	52.9%	-	65.4%
Allianz	新契約マージン	NBV	APE	26.3%	7.4%	36.0%	22.4%	-	34.1%	35.5%	39.0%
Generali	新契約マージン	NBV	APE	46.2%	27.7%	50.5%	51.8%	-	-	-	-
Aegon	新契約マージン	NBV	APE	16.2%	-	-	-	-	-	-	-
Zurich	新契約マージン	NBV	APE	29.1%	28.6%(EMEA)					19.8%	52.7%
Prudential	新契約利益	NBV	APE	60%	-	-	-	-	-	-	-

(2)新契約マージンの商品タイプ別状況

新契約マージンの商品タイプ別状況を開示している会社は、地域別状況を開示している会社と比べて限定されており、グループ全体に対する開示は、Allianz と Generali の 2 社のみとなっている。さらに、その開示内容も、地域別状況の場合とは異なり、2 社とも PVNBP に対するもののみとなっている。

なお、Aviva は英国&アイルランドの生命保険事業についてのみ商品タイプ別の状況を開示している。また、AXA と Zurich は 2017 年までは商品タイプ別の状況を開示していたが、2018 年以降は開示していない。

3 社の開示数値からは、各グループの状況の中でも報告してきたように、新契約マージンは、保障・医療が最も高く、次がユニットリンクとなっている。これに対して、貯蓄・年金の新契約マージンは低水準となっている。

新契約マージンの商品タイプ別状況の各社比較(2022年)

グループ	名称	分子	分母	全体	保障	医療	貯蓄	年金	ユニットリンク	その他
Allianz	新契約マージン	NBV	PVNBP	3.8%	6.0%		1.8%	-	2.7%	3.9%
Generali	新契約マージン	NBV	PVNBP	5.35%	8.46%	-	3.70%	-	4.92%	-
Aviva	新契約マージン	NBV	PVNBP	2.3%	8.8%		1.0%	4.5%	-	-

(※)Allianzの「その他」は高資本効率商品に対する者、Avivaは、英国&アイルランドの生命保険事業に対する数値(貯蓄は貯蓄・退職等、年金は年金・エクイティリリースに対するもの)

(参考)新契約マージンの商品タイプ別状況の各社比較(2021年)

グループ	名称	分子	分母	全体	保障	医療	貯蓄	年金	ユニットリンク	その他
Allianz	新契約マージン	NBV	PVNBP	2.8%	5.4%		1.1%		2.5%	3.2%
Generali	新契約マージン	NBV	PVNBP	4.52%	7.82%	-	2.32%	-	4.75%	-
Aviva	新契約マージン	NBV	PVNBP	1.9%	7.9%		0.8%	3.6%	-	-

(※)Allianzの「その他」は高資本効率商品に対する者、Avivaは、英国&アイルランドの生命保険事業に対する数値(貯蓄は貯蓄・退職等、年金は年金・エクイティリリースに対するもの)

(3)評価

以上の図表をみてもわかるように、公表された数値から、新契約の収益性をグループ各社間で比較することは、その算出のための考え方や前提等が必ずしも統一されているわけではないことから、単純なことではない。

各社の開示内容は異なっており、特に商品タイプ別の新契約マージンについては、開示している会社は限定されている。また、地域別の新契約マージンについても、国毎ではなく欧州全体としての数値の開示にとどまっている会社もある。加えて、これらの分析の基礎となるデータの開示のレベルもグループ毎に大きく異なっている。

これらの数値は、基本的には、各社がグループ内で、商品タイプ間や地域間の新契約の収益性等の比較を通じて、戦略的な判断を行っていくための基礎数値としてワークしている形になっており、その意味で有益な情報を与えている。一方で、投資家等の財務情報の利用者の観点からは、あくまでも参考情報に留まっているというのが現状のように思われる。

2 | 2022年実績を踏まえて

2020年は、COVID-19の影響で、世界の各国において、ロックダウン等が行われ、販売活動が制限されたことから、国や地域によっては新契約業績に大きな影響を受けた。一方で、多くの地域で医療保険商品等へのニーズが健在化したことから、そのプラスの影響もみられた。さらには、市場の急激な変動等を受けてのユニットリンクの販売に与える影響も各国の状況によって異なっていた。

2021年は、COVID-19の影響も一定収束したことから、グループや地域、商品等によっても状況は異なるが、2020年の反動があつて新契約を大きく進展させているケースも多くみられた。

2022年は、市中金利の上昇や株価の変動等の金融市場環境の大きな変化を受けての保険商品の販売への影響も一定観測される形になっている。

ただし、「1. はじめに」で述べたように、欧州大手保険グループ各社は、基本的には、伝統的な保証付の貯蓄・年金商品等から、ユニットリンク商品や保障・医療商品へのシフトを志向してきている。即ち、市場の動向等に収益水準が大きく左右される金融リスクの高い商品から、保障関係リスク中心の商品へのシフトを進めてきている。この動きは、COVID-19の影響や市場の急激な変動等の影響を受けても基本的には変わっていないものと思われる。

また、長く続いた低金利環境下で、高い運用利回り実績を挙げることが容易ではなくなってきた中であつて、各社とも、新契約の保証利率の引き下げや、伝統的な保証商品に比べて保証を限定した商品(満期時保証、年金総額保証等)へのシフトを図ることで、負債コストの引き下げを図ってきた。

さらには、ソルベンシーⅡ等の新たな資本規制の導入に対応すべく、各種商品ポートフォリオを見直して、ユニットリンク商品や保証水準を低めた商品等のリスクが抑制された資本負担の少ない商品へのシフトを図ってきた。

保証利率の引き下げ等により、従来の保証付商品の魅力が低下してきていることから、顧客サイドの選択肢の観点からも、ユニットリンク商品等に向かうインセンティブが一定程度喚起される形になっていた。

昨今の金利の上昇やインフレリスクの高まり等の環境変化にも関わらず、これまでの動きに基本的に大きな変化はないものと想定される。

各社とも、従前の投資関係損益への大きな依存から脱却していくことが求められてきており、①市場に左右されない保障や医療商品にシフトすることで、保険本来のリスクの引受けによる損益の位置付けを高めていくことや、②着実に資産の積み上げを図ることで手数料収入の確保ができる商品の拡販を目指す、等の運営を進めてきている。

いずれにしても、こうした運営を通じて、適正な資本水準を効率的に確保しつつ、高い収益を目指す経営を追求してきている。

各社とも、市場環境の変化や市場動向等を踏まえた上で、それぞれが置かれている状況に応じて、必要な対応策を講じていくことが求められてきており、実際にそのような方向で対応してきている。

日本の保険会社も、これまでの長期にわたる超低金利環境下で、継続的に所要の対応を行ってきているが、今後は経済価値ベースのソルベンシー規制の導入や国際的な保険契約の会計基準であるIFRS第17号の導入等の動き等を見据える中で、さらなる対応が求められてくることにもなってくると考えられる。

欧州の大手保険グループの取組みについては、日本の保険会社にとっても参考になるものが多いと思われることから、今後とも、その動向については引き続き注視していくこととしたい。

以 上